

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	0240/350510/06/06		事業の種類		5	
年度	19	事務事業名	商工業振興事業補助金		作成日	平成21年1月20日	重要度	3
予算事業名		商工会議所振興補助事業補助金		担当部課名	産業振興課			
政策名		にぎわいと活気のあるまちづくり						
施策名		商業・サービス業・観光		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、市内の商工業者						
	誰(何)を対象として	同上						
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市部の著名な経済評論家を招き、1年の計である新春に講演会を開き、今後の政局、経済課題、見通し等把握する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		新春特別経済講演会「どうなる？今後の日本の政治経済」 著名な講師を招き、講演を行う商工会議所の事業の4分の1程度を補助する。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	来場者	人	62	77	89	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.010	0.010	100.0	0.010	100.0	0.010	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,047,368	799,614	76.3	826,595	103.4	783,692	94.8	
	事業費	160,000	160,000	100.0	80,000	50.0	80,000	100.0	
	合計	1,207,368	959,614	79.5	906,595	94.5	863,692	95.3	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,207,368	959,614	79.5	906,595	94.5	863,692	95.3	
	合計	1,207,368	959,614	79.5	906,595	94.5	863,692	95.3	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		来場者							
指標説明(式)		来場者							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標	70	70	100.0	70	100.0	100	142.9	
	実績	62	77	124.2	89	115.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1	来場者1人にかかる補助金額								
指標説明(式)	補助金額/来場者								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績	19,473	12,462	64.0	899	7.2	800	89.0	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	日本経済全体を見据えた講演になっており、相生市で生の著名人の声を聞ける意味あい、大きい。また、市民に対しても無料で開放しており、妥当性充分あるといえる。	4	4
有効性	成果目標(改善)達成度	参加者が増加傾向にあり、更に経費削減に努め、効率的な補助とする。。	4	4
	市民サービス	会員・市民誰もが無料で参加できることは、市民サービスにも繋がっている		
効率性	コストの節減	補助率を事業費の3分の1から4分の1に変更する。	4	4
	手段の最適性	会議所への事業補助のため、人件費がかからないため、開催しなければならぬ状況下であるならば、最善の方法といえる。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民ニーズ	

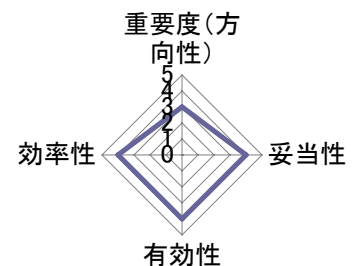
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民ニーズ	
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

経済団体として最新の経済動向を専門家から直接知識を得る唯一の機会であり、経費の削減に努めながら、事業継続が必要である。



検討の有無	—
総合指標	20